

新規就業後2年連続で800万円以上の水揚げ達成

1. 出雲市小伊津地区の概要

小伊津地区は出雲市東部(旧平田市)に位置し、アマダイが好む砂泥底の漁場を抱え、古くから延縄漁業が盛んな地区。

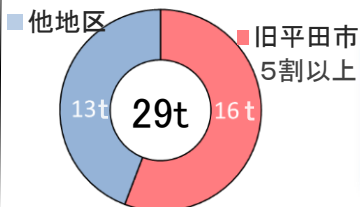
S20年代後半から、漁協職員と地区漁業者が協力し、漁獲されたアマダイの規格(サイズ、鮮度)を統一した共同出荷を実施。

主な流通先の一つであり、アマダイの品質評価に厳しい京都市場において高く評価されており、県内市場においても高単価を維持。

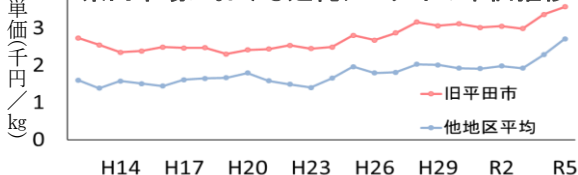
一方、漁業者数は十年前の40人から高齢化により半減、共同出荷の継続が課題であるため、一部の漁業者が新規就業者確保・育成の必要性を提唱。

県内延縄における旧平田市のアマダイ漁獲量

3年平均:R3~5



県内市場における延縄アマダイの単価推移



2. 取組の経過

(1)ワンストップ相談窓口※を介した地区との橋渡し
新規就業希望者から延縄漁業への就業相談があり、県はワンストップ相談窓口を介して、希望者と小伊津地区の橋渡しを実施。

※沿岸自営漁業への新規就業希望者を対象とした相談窓口

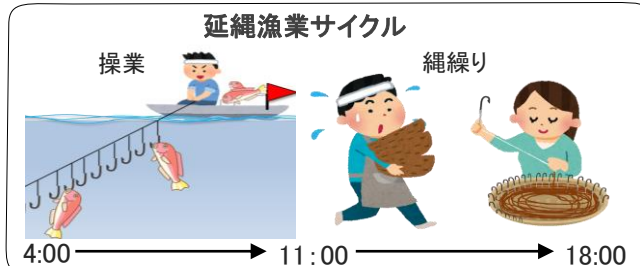
(2)ベテラン指導者から確実な技術を習得

延縄漁業は約6kmにわたる漁具を使用し、好漁場の選定や投縄・揚縄作業の技術や経験が必要であるため、年間1,000万円以上の水揚げ実績のあるベテラン指導者のもとで、実践を通じた技術指導を受けられる産業体験に1年間取り組み、確実な技術を習得。



(3)家族と共に縄繰り作業※の手順を習得

延縄漁業サイクルの半分を占める縄繰り作業は、家族の協力が不可欠であるため、家族ぐるみで縄繰り作業の手順を習得。



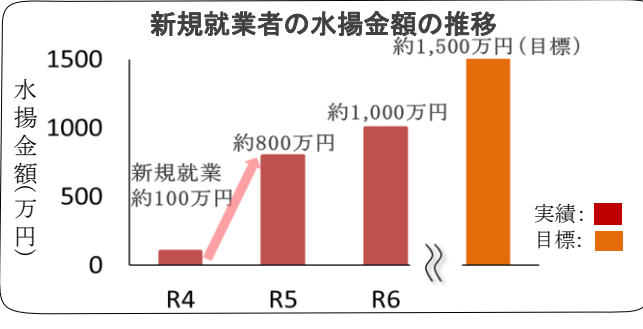
※操業後の仕掛けの補修作業

(4)地区への積極的な溶け込み

地区行事への参加や、地区の漁業者とコミュニケーションを積極的に取ることで漁場選定や漁法等のアドバイスを受けやすい人間関係を構築。

3. 取組の成果

新規就業後、2年連続で800万円以上の水揚げを達成し、新たに地区トップの水揚げ水準である年間1,500万円を目標として設定。



新規就業者から一言

延縄技術の習得には多くの時間と労力を要しましたが、皆様の支援のお陰でどうにか水揚げを伸ばすことが出来ました。これからも、更なる水揚げの増加を目指し頑張りたいと思います。

4. 課題と今後の方向性

- (1) 地区全体で新規就業者を確保・育成する体制の構築
- (2) 縄繰り作業の効率化による労働時間の短縮
- (3) 家族労働分の対価も加味した水揚げ目標金額の設定
- (4) 新規就業者用住居の確保